

希望の光 夢を叶える「準備」を

袖ヶ浦市長 粕谷 智浩

本日、ここに、令和3年の新春を迎え、ご成人となられました皆様に心よりお祝いを申し上げます。

また、皆様を今日まで愛情深く育てて来られました御家族の皆様にもお慶び申し上げます。

本年の成人式につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、中止せざるを得ない状況となってしまいました。誠に遺憾でございますが、今般の状況を鑑みた中において、皆様の安全を守るための決断ですのでご理解くださいますようお願いいたします。新成人の皆様にお集まりいただき晴れの日を祝うことは叶いませんでしたが、成人の日は新成人の新たな門出を祝い、成人としての自覚を認識する日でもあります。ぜひ、それぞれのご家庭において、この素晴らしき人生の門出をお祝いいただきたく存じます。

さて、昨年12月、小惑星探査機「はやぶさ2」が当初予定されたミッションを成功させ、カプセルが無事に地球へ帰還したことが話題となりました。この快挙に、日本のみならず、国外でも大きな歓声が上がったことは記憶に新しいことと思いますが、今回の成功の裏には、多くの努力と長期に渡る周到な準備がありました。

初代「はやぶさ」は、エンジン故障や通信途絶などトラブル続きでしたが、関係者たちは、その苦い教訓を生かし、課題を徹底的に洗い出して、「はやぶさ2」の機体を進歩させ、任務遂行への綿密な準備を行いました。この努力と準備こそが、今回の極めて難易度が高いミッションを成功へと導いたのです。

皆様も、これからの人生において困難にぶつかり、迷い立ち止まることがあるかと思えます。そのようなときでも決して諦めず、己の思い描く未来へ向かって歩み続けてください。言うなれば、それが夢を叶えるための「準備」です。自分を信じ、努力し続け、全ての準備が整った時、皆様の思い描いた未来がやってくるでしょう。

私たちのふるさと袖ヶ浦は本年4月に市制施行30周年の節目を迎えますが、本市の更なる発展を目指す為には「まちづくり、ひとづくり」という大きな課題に取り組んでいく必要があります。「はやぶさ2」の快挙が現在のコロナ禍において明るい希望の光となったように、皆様の活躍は袖ヶ浦市の希望の光です。次の袖ヶ浦の未来を創るためにも、皆様がこれからの社会の新しい力となりご活躍されますことを心から期待いたします。

結びに、新成人の皆様をはじめ、ご家族皆様方の一層の御健勝と御多幸を、そして、新たに迎えました令和3年が佳き年となりますようご祈念申し上げまして、私の祝辞といたします。

本日は、誠におめでとうございます。